

ECO メーカー

ご利用マニュアル

情報が見える。コストが見える。ヒトが見える。

見えるコミュニケーション

V-CUBE

www.vcube.co.jp

株式会社ブイキューブ

2010/05/17

この文書は、オンラインセミナー配信サービス「V-CUBE セミナー」に敷設された「ECO メーカー」のご利用マニュアルです。

©2010 V-CUBE, Inc. All Rights Reserved.

更新履歴

更新日	内容
2010/05/17	サービスブランド名変更に伴い「nice to meet you」を「V-CUBE」に変更
2009/12/16	ダウンロードページの変更
2008/10/09	P5 画像差し替え
2008/08/26	新規作成

内容

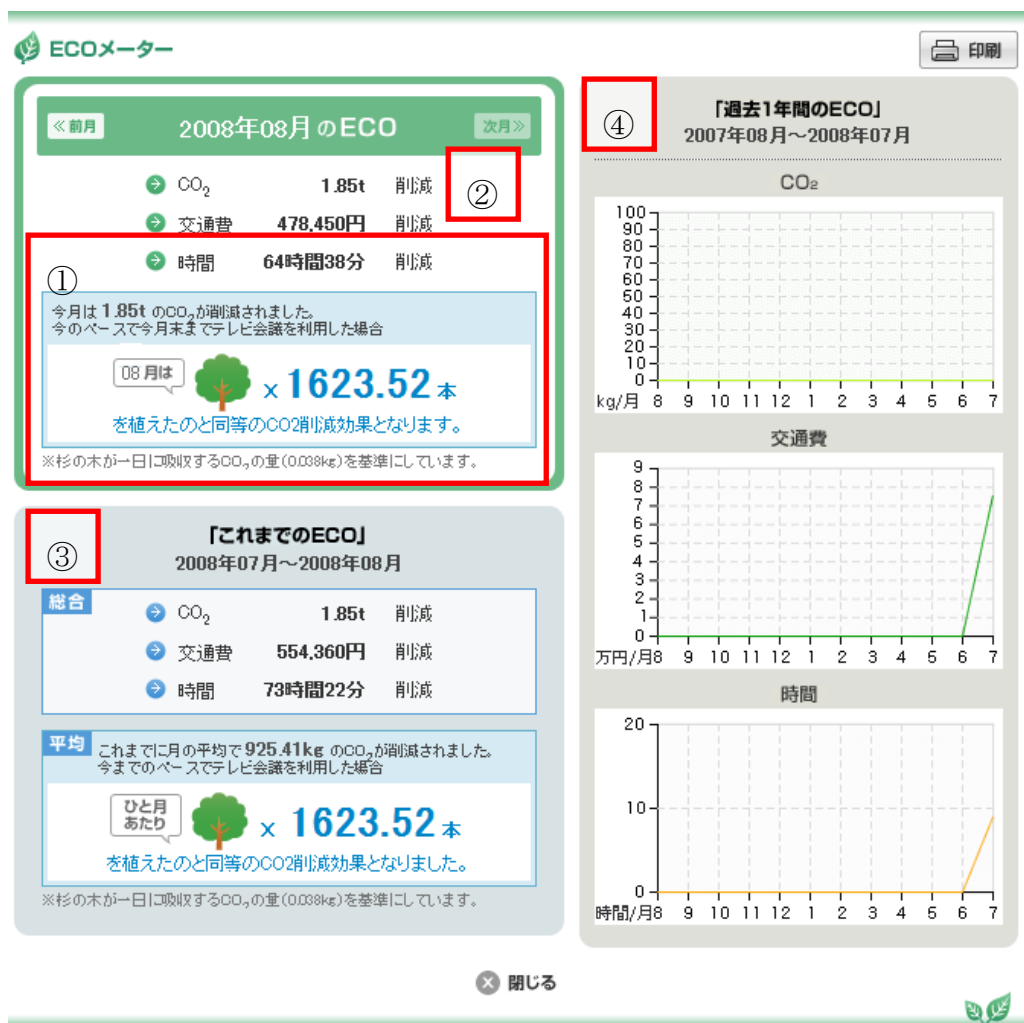
1	ECO メーターの概要	- 1 -
1.1	ECO メーターとは.....	- 1 -
1.2	ECO メーターの敷設されるサービスについて	- 2 -
1.2.1	V-CUBE セミナーとは.....	- 2 -
1.3	ECO メーターについて	- 2 -
1.3.1	CO ₂ の排出量について	- 2 -
2	V-CUBE セミナーでの ECO メーター使用方法	- 3 -
2.1	ECO メーターを使う前に	- 3 -
2.1.1	前提条件の確認	- 3 -
2.1.2	セミナー開催による、各削減量算出方法について	- 3 -
2.2	ECO メーターを使うには	- 4 -
2.2.1	ECO メーター機能を有効にするには	- 4 -
2.2.2	受講者が最寄駅を設定するには.....	- 5 -
2.3	ECO メーターの結果を見るには	- 7 -
2.3.1	セミナーごとの結果を確認するには	- 7 -
2.3.2	月毎の結果を確認するには.....	- 9 -

1 ECO メーターの概要

1.1 ECO メーターとは

ECO メーターとは、あるいはウェブセミナーシステム V-CUBE セミナーを利用することで削減できた二酸化炭素（以下、CO₂）排出量、交通費、移動時間を算出し、数値やグラフとして表示する機能です。

注意1. ECO メーターは、2009年7月現在、V-CUBE ミーティング、V-CUBE セミナー、V-CUBE セールス&サポートに敷設されています。V-CUBE セミナー以外の ECO メーターの利用方法については、内容が異なりますので、各サービスの ECO メーターマニュアルを別途ご参照ください。



- ① CO₂ の削減効果は、CO₂ を吸収する樹木をベースにカウントされます
- ② 毎月の各削減率が表示されます
- ③ 年間の各削減率が表示されます
- ④ 年間の各削減効果がグラフで表示されます

1.2 ECO メーターの敷設されるサービスについて

1.2.1 V-CUBE セミナーとは

V-CUBE セミナー（以下、セミナー）はインターネット上の仮想セミナールームです。指定したアドレスにアクセスするだけで、遠く離れた場所にいるお客様やスタッフに映像と音声によるウェブセミナーを配信することができます。

1.3 ECO メーターについて

1.3.1 CO₂の排出量について

CO₂の削減率は、杉の木のCO₂吸収量を目安としています。

1日あたりの杉の木のCO₂吸収量の算出方法を、杉の木1本あたりが「1年で平均してCO₂約14kgを吸収」※することから、「1日のCO₂吸収量=14kg/365日=0.038kg」としています。

※参考文献：『地球温暖化防止のための緑の吸収源対策（環境省・林野庁発行）』平成15年

2 V-CUBE セミナーでの ECO メーター使用方法

2.1 ECO メーターを使う前に

2.1.1 前提条件の確認

CO2 排出量計算式	1 日の CO2 吸収量= 14kg/365 日= 0.038kg※1
各削減量算出方法	講師を中心拠点として、各受講者に登録された最寄駅と中心拠点との経路（往復）を算出します。算出された経路の中で、最も移動時間の短い経路を参照しています※2
セミナー中の退室について	一度退出して再入室すると、新規の参加者として扱われます
海外からの接続について	海外からの駅検索の対応はしておりません。海外から 参加するユーザは、成田空港から参加する前提とします。

注意1. 1本の杉の木の1年あたりのCO2吸収量を14Kgとした場合

注意2. 最寄駅を設定していないユーザは、ECOメーターの計算対象外となります。

2.1.2 セミナー開催による、各削減量算出方法について

- ① 講師を中心拠点として、最寄駅を登録した各受講者と中心拠点との間を結ぶルートを算出します。
- ② 算出された経路（往復）の内、最も移動時間の短い経路が選択されます。
- ③ すべての最短ルートの合計が計算されます。



2.2 ECO メーターを使うには

2.2.1 ECO メーター機能を有効にするには

注意1. セミナーで ECO メーター機能を利用する場合、セミナーの配信予約時に、ECO メーター機能を有効にしておく必要があります。

手順1. セミナー開催予約の際に、ECO メーターを「利用する」にチェックを入れます

ECOメーターを利用する

: 利用する : 利用しない

ECOメーターを利用する

セミナー終了後にセミナーを使ったことにより削減されたCO2排出量、交通費、移動時間を算出することができます。受講者のログイン画面に「最寄り駅の入力」が表示されるようになります。

: 利用する : 利用しない

ECOメーター設定情報 → ECOメーターのしくみ → ECOメーターとは?

STEP1 セミナー会場(講師の在所)の最寄り駅を入力しOKボタンを押してください。

大手町

※国内のみ対応しております。海外の場合は「成田空港」を設定して下さい。

STEP2 最寄り駅を選択してください。

大手町(東京都)
大手町(愛媛県) を現在の最寄り駅に設定する。

手順2. STEP1 で、講師の在所の最寄り駅名を入力します

手順3. STEP1 の OK をクリックします

手順4. STEP2 で、候補に挙がった駅名から、最寄り駅名を選択します

注意2. 駅名が複数ある場合に限らず、必ず STEP2 で駅名を選択してください。

手順5. 「次へ」 ボタンをクリックします

セミナーの予約を完了させて、ECO メーター機能の設定は完了です。

2.2.2 受講者が最寄駅を設定するには

受講者は、招待メールに記載されているセミナーアクセス用 URL や、ウェブサイトなどで公開されているアクセス URL を利用してセミナーにログインします。

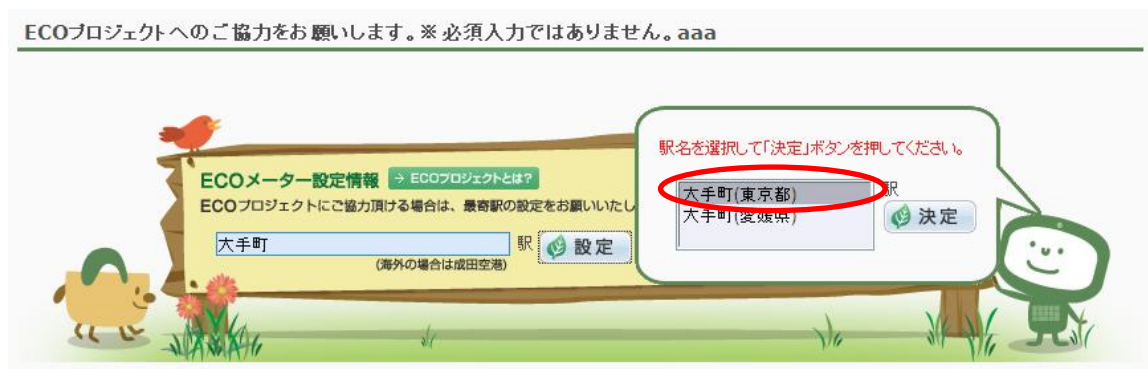
手順1. URL から、セミナーのログイン画面を開きます

手順2. 駅名を入力し、「検索」をクリックします

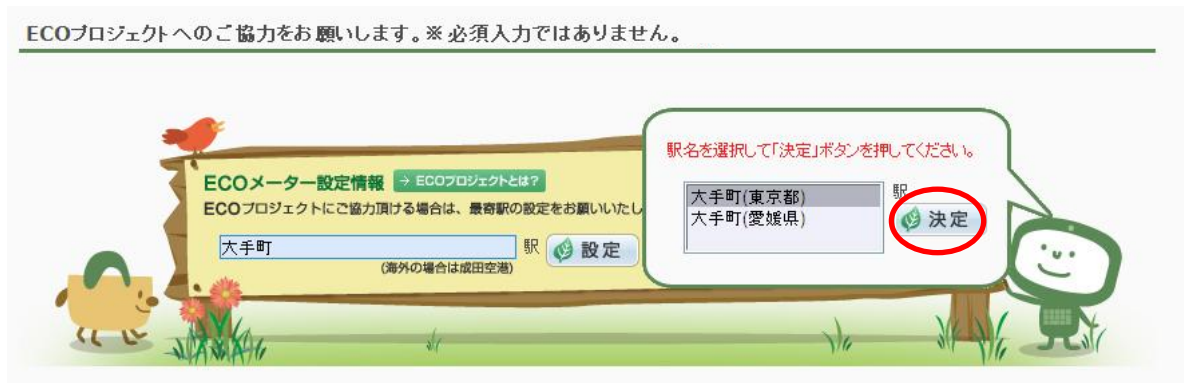


手順3. 候補が複数ある場合、該当の駅を選択します

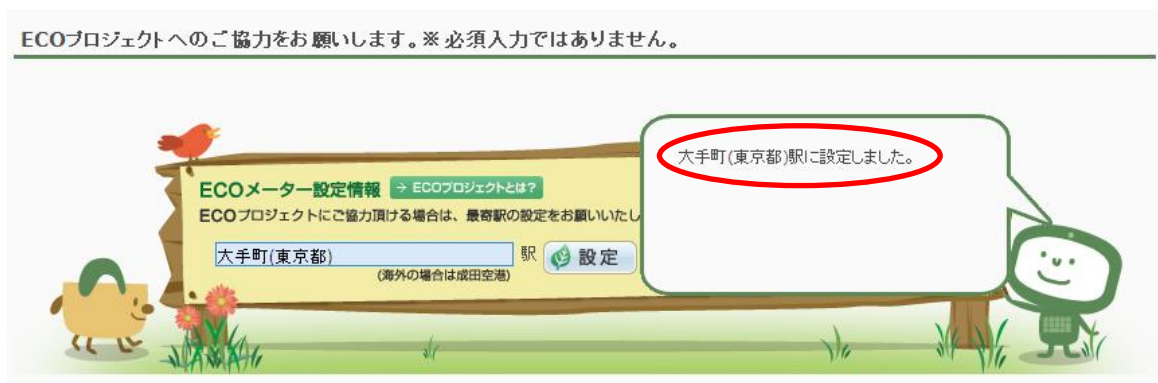
注意1. 候補がひとつしかない場合、自動的に最寄駅として設定されます。



手順4. 決定をクリックします



以上で、受講者の最寄駅設定は完了です。



→ ECOプロジェクトとは? 「ECOプロジェクトとは?」をクリックすると

ECOメーターの概要、利用にあたっての留意事項が表示されます。



ID・PWで入室するときの最寄駅の設定方法は以上です。

2.3 ECO メーターの結果を見るには

2.3.1 セミナーごとの結果を確認するには

手順1. セミナーのメインメニューから、「開催記録」メニューをクリックします



手順2. セミナールームが複数ある場合、記録を確認したいセミナールームを選択します



手順3. 「表示する」をクリックします

表示する

手順4. ECO メーターの情報を見たいセミナーの、「ECO メーター」ボタンをクリックします



ECO メーターの情報が表示されます

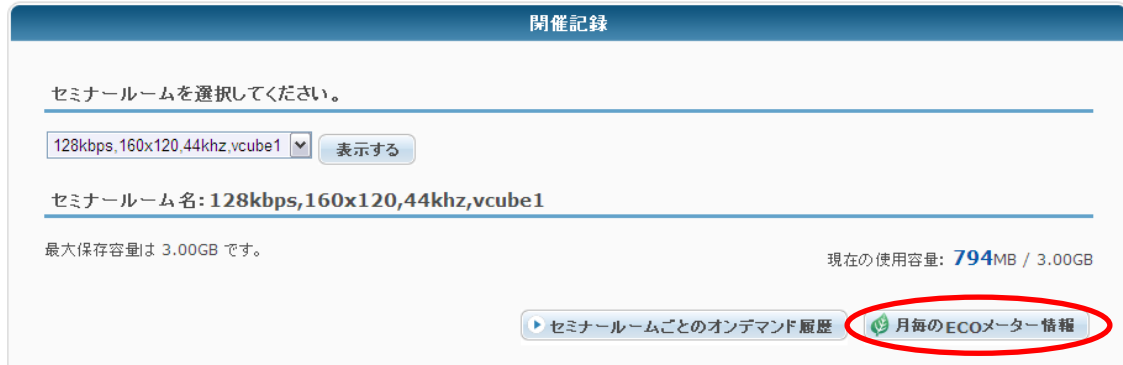
- ① 各削減量が表示されます
- ② CO₂ 削減量を、杉の木の CO₂ 吸収量に換算し、杉の木の木数で表示しています
- ③ セミナー入室の際に、最寄駅を設定しなかったユーザ数を表示しています
- ④ ECO メーターの情報を印刷します
- ⑤ このページを閉じます

以上で、セミナーごとの ECO メーター情報が確認できます。



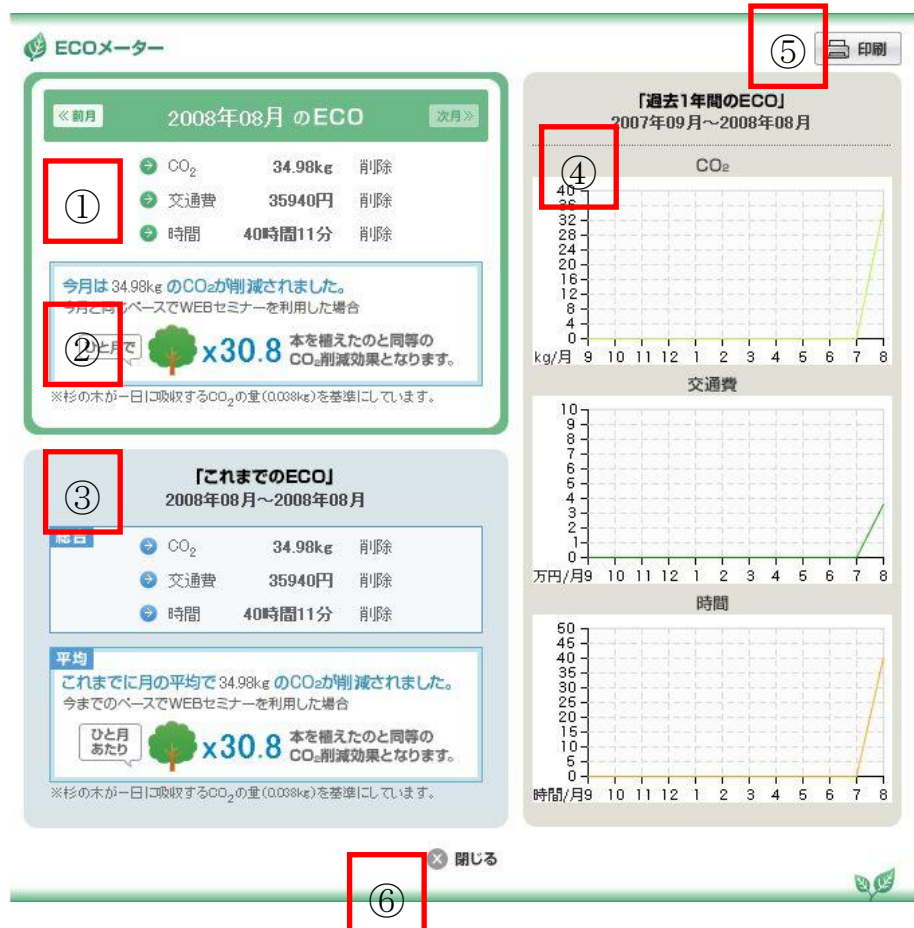
2.3.2 月毎の結果を確認するには

手順1. 各会議記録の右上にある、「月毎の ECO メーター情報」ボタンをクリックします



月毎の ECO メーター情報が表示されます。

- ① 各月の、各削減量が表示されます
- ② CO₂ 削減量を、杉の木の CO₂ 吸収量に換算し、杉の木の木数で表示しています
- ③ 過去 1 年間の各削減量累積情報が表示されます
- ④ 過去 1 年間にわたる各月ごとの削減量の累積情報が、グラフとして表示されます
- ⑤ ECO メーターの情報を印刷できます
- ⑥ ECO メーターの情報画面を閉じます



以上で、月毎の ECO メーター情報の確認ができます。

以上で ECO メーターご利用マニュアルは終了です。